

講演会「若山神社としまもとの歴史」

～しまもとの神社について～

平成 28 年 11 月 19 日（土）

若山神社 宮司 栗辻 卓 氏



本日は歴史文化資料館へお運びいただきましてまことにありがとうございます。この歴史文化資料館は麗天館と申しまして昭和 16 年に建築されました。祖父がこの建物の竣工の折に清祇いをさせていただきました。そこにまた、わたくしが立っているのも何かのご縁でございます。

神様のお話をします。水無瀬神宮の御祭神は後鳥羽天皇、順徳天皇、土御門天皇です。若山神社の御祭神は素盞鳴命、牛頭天王です。神社と神宮は御祭神が違います。「神宮」は、水無瀬神宮、平安神宮、明治神宮などたくさんございます。その中でも日本で一番大事な神宮さんと申しましたら伊勢の神宮です。「伊勢神宮」とはわたくしらは言わないです。ただの「神宮」としか言わないのです。それでわかるからです。お伊勢さんは 20 年に 1 回ご遷宮されます。一番古くて新しいお宮さんです。いっさい釘ほかそういうものを使わずに建てる素晴らしい建物でございます。つい先年ご遷宮がございました。それは技術の伝承と心の継承です。1200 年以上続いています。

神宮さんは格式と位が重要です。明治 4 年に社格と申しまして、太政官布告で、官幣大社、官幣中社、官幣小社、それから国幣大社、国幣中社、国幣小社、そういうふうな格付を政府がされました。水無瀬神宮は明治に官幣中社でしたが、昭和 14 年に官幣大社に昇格されました。それから、諸社です。諸社といいますのが府県にあります。若山神社はこの諸社の中に入るわけですから。そういうふうに明治時代に格付けされたわけですから。それが戦前まで続いておりました。敗戦後そういう言い方はもういたしません。

明治 5 年には、今まで国に功績のあった忠臣などを祀る別格官幣社が創設されました。代表的なのが、楠木正成公をお祀りしました湊川神社。他に京都の御所の西側に和氣清麻呂公をお祀りした護王神社さんがございます。それから、乃木希典公を祀った東京の乃木神社。伏見にも乃木神社ございます。それから徳川家康公をお祀りしている日光東照宮。京都に織田信長公を祀る建勲神社。それから豊臣秀吉公を祀る豊国神社が別格官幣社です。

それからまだまだ神社の話をしますとたくさんございます。ご存じの上賀茂神社、下鴨神社、これは、一の宮と申しまして旧国名は山城の国の一の宮です。賀茂別雷神社、賀茂御祖神社は、特に地方の中で大事です。摂津の国の一の宮は住吉大社。大和の国は大和神社。そういう風に旧国名で一の宮がございます。安芸の国（広島県）の一の宮は厳島神社。下総の国（千葉県）は安房神社。このように有名な神社さんが多いです。京都の丹波の国の方に行きますと亀岡市に出雲大神宮さんがございます。社格は国幣中社で、一の宮です。そういう風に言い方が競合するんです。一の宮は官幣大社の神社が多いです。

もう一つ、律令の中に延喜式というのがあります。これは平安時代の法律ですね。神祇制度で神様の制度を神祇官が制定します。「延喜式神明帳」の中にのっている神社が式内社という神社です。これは全国に 2861 ありますが、残念ながら若山神社は外れております。平安時代から、その土

地の重要な神様であるということを式内社ということで、表しています。

ここから若山神社のお話になります。江戸時代、1600年代の島本の絵地図があります。若山神社は西天王山中腹にございます。絵地図には宮山と書いています。若山というのは今でいう地番なので、昔の人は若山とは誰も言いませんでした。最初は若山神社の社殿はなかったと思われます。神社の本来は神籬といいまして、地鎮祭の時に榊をたてまして、御幣をくくりつけまして、神様をお迎えして、御祀りするんです。すみしたら、神様に元のところに帰っていただく。それが最初の神社の起こりです。社殿が、できましたのはずっとあとのことだろうと思います。社殿の「創建伝承」によると「山の中に鶴が巣籠りしている浄地がある。そこに空洞のある古い大木がある。その木を伐って神体を刻み斎き祀れ」と仰せられそのところが最初に神社になります。(大宝元年 701 年)

神社の由緒、創建伝承の大事なところは、素盞鳴命と牛頭天王の関係でございます。牛頭天王というのは、インドの祇園精舎の守護神で、素盞鳴命と習合され祀られました。

素盞鳴命、八坂神社の主祭神です。神様の一番大事なのは厄除け、病気を静める、疫病を静めることです。平安京にいろいろな仕業をした怨霊を静めるための御霊会があり、それが祇園祭の起こりです。

八坂神社と素盞鳴命さん、若山神社の創建は、非常に関係が深いのです。若山神社の御祭神は八坂さんと同じ神様でして、由緒の中に神の御神託がありまして、京都から西の方に祀る山、それが山崎の天王山。最初にあちらにお祀りせよとお告げがありました。そこよりも西にもっとよいところがある、それが若山神社の場所になる。それが西天王山になるわけです。天王山のいわれは牛頭天王の天王からきている訳です。天王山を登っていくと酒解神社がございます。酒解神社は「自玉手祭来酒解神社」です。牛頭天王さんを祀ってあるので、天王山なのです。

島本の神社について最後に申します。大沢には早尾神社がございます。猿田彦命さんと応神天皇さんをお祀りしています。現在、8軒のうち6軒在住でございます。お祭りは年3回程よせていただいています。高齢化とお祭りの存続が危ぶまれてきている状態です。地域によりまして、本当に大変でございます。尺代は諏訪神社さん。こちらは 60 軒程が住んでおられます。御祭神は建御名方命です。長野県諏訪神社と同じ神様です。水無瀬の滝のところで名神のトンネルの入り口付近にある春日神社さんは、奈良の春日神社と同じ天児屋根命、藤原氏の御先祖をお祀りしています。それから山崎地区の椎尾神社さん、こちらは後鳥羽天皇さん、聖武天皇さん、それから素盞鳴命さんをお祀りしている神社でございます。こちら山崎地区にはたくさん在住されていて前々からお祭りをされておまして、12月15日も関大明神さんでお火焚祭というのがございます。それから桜井の八幡神社さんは応神天皇を祀っています。それから高浜の武内神社さん。御祭神は武内宿祢命です。60軒程在住されております。私が住んでいます広瀬には粟辻神社というのがございます。惟喬親王さんと在原業平さんをお祀りしているということでございまして、昔は春日さんといっていたんですけども、江戸時代の中頃に粟辻明神と改称されて、粟辻家6軒が保持、管理しています。ということで、島本にはたくさん神社がございますので、またお参りされたら結構かと存じます。

島本では昔、何も無いところに神社を設けていただいた。そして現在もお参りできるというのは本当にありがたいことでございます。

早口で端折ってお話したところもございまして、わかりにくいところもあったかと思います。長時間ご清聴いただきましてありがとうございました。